

三菱自動車、欧州市場向けの新型コンパクト SUV『グランディス』を世界初公開

三菱自動車工業株式会社（本社：東京都港区、代表執行役社長兼最高経営責任者：加藤 隆雄、以下三菱自動車）の欧州事業統括会社である三菱・モーターズ・ヨーロッパ・ビー・ブイは、欧州市場向けの新型コンパクト SUV『グランディス』を2025年内より欧州で順次販売を開始します。なお、同車はスペインのルノー社バリャドリッド工場で生産される予定です。

新型『グランディス』オンライン発表会（英語のみ）
<https://www.youtube.com/live/B7nT3l1bPEE>



新型『グランディス』

新型『グランディス』は、2023年に欧州で販売を開始したコンパクト SUV『ASX』、コンパクトハッチバック『コルト』に続いて、アライアンスパートナーであるルノーより OEM 供給を受ける CMF-B プラットフォームを採用したコンパクト SUV で、マイルドハイブリッド（以下、MHEV）モデルとハイブリッド EV（以下、HEV）モデルをラインアップしています。『グランディス』の車名としては13年ぶりの欧州市場投入となり、広々とした利便性の高い室内空間をコンセプトとしました。

当社代表執行役副社長（営業担当）中村達夫のコメント

「昨年度の『アウトランダーPHEV』に続き、三菱自動車のダイナミックシールドデザインを採用した新型『グランディス』を欧州市場に投入することで、当社のラインアップを強化します。また、電気自動車『エクリプス クロス』を同時期に投入する計画であり、HEV、PHEV、BEV と豊富な電動車を揃え、多様なお客様のニーズにお応えしていきます。」

新型『グランディス』の主な商品特長は以下の通りです。

■エクステリア

新型『グランディス』の車名は、ラテン語で「大きい」「雄大な」という意味に由来し、広々とした室内空間と堂々とした力強いエクステリアデザインを象徴しています。フロントフェイスには、三菱自動車のデザインアイデンティティである「ダイナミックシールド」を採用。サテンシルバーのアクセントをあしらった光沢のあるブラックグリルが、安心感とパフォーマンスの高さ、そして洗練された上質さを演出します。ルーフラインが後方まで流れるようなサイドシルエットはダイナミックさと広い室内空間を両立し、新設計の 19 インチアルミホイール^{*1}が大胆かつプレミアムな印象を与えます。リヤにおいては「スカルプチュアルヘキサゴン」というデザインアイデンティティを採用。彫り込まれたような六角形のモチーフが、力強さと三菱自動車の DNA を表現するとともに、水平に配したリヤコンビランプが、洗練とモダンな印象を表現します。

■インテリア

インテリアには、使い勝手の良さと積載性にこだわった 2 列 5 名乗車シートレイアウトを採用しました。リヤシートは最大で 160mm の前後スライド機能を備えており、ラゲッジスペースの積載容量は 434L^{*2}から、リヤシートを一番前にスライドさせた状態で 566L、リヤシートバックを倒すと最大 1,455L まで拡大することができます。また、テールゲートはハンズフリー機能付きエレクトリックテールゲート^{*1}を採用。インストルメントパネル上のスイッチ、またはテールゲートのスイッチ操作による開閉に加え、キーレスオペレーションキーを携帯した状態でリヤバンパー下に足をかざすことでテールゲートの開閉が可能です。さらに、スイッチ操作でガラスの透過と調光の切り替えが可能なパノラマガラスルーフ（調光機能付）^{*1}は、日差しの眩しさや熱を抑え、開放的かつ快適な室内空間を実現します。あらかじめ設定されたパターンに基づき、全面透過や全面調光に加え、フロント透過・リヤ調光、フロント調光・リヤ透過の調整をすることが可能です。

■パワートレイン

新型『グランディス』では、MHEV モデルと HEV モデルの 2 種類のパワートレインを設定しました。1.3L 直噴ガソリンターボエンジンを搭載した MHEV モデルは、6 速マニュアルトランスミッション仕様と、7 速デュアルクラッチオートマチックトランスミッション（7DCT）仕様から選択でき、エンジンはいずれも最高出力 103kW を発揮します。一方、HEV モデルでは、最高出力 80kW の 1.8L 自然吸気 4 気筒ガソリンエンジンに 36kW の駆動用と 15kW の発電用の 2 つのモーター、2 つのインバーターとコンバーターを内蔵したパワーエレクトロニクスボックス、1.4kWh の駆動用リチウムイオンバッテリー、走行状況に応じて駆動を最適化するスマートマルチモードギアボックストランスミッションを組み合わせ、最高出力 115kW を実現します。この HEV システムは、リアルタイムで走行状況を解析し、パワートレインの状態や電力使用量に応じてエンジンとモーターの最適な動力配分を自動で制御します。走行モードは、モーターの力だけで走る EV モード、モーターとエンジンの出力を活かしたハイブリッドモード、減速時に回生ブレーキによって減速エネルギーを回収して電力変換し、駆動用バッテリーに蓄電する回生モードの 3 つが用意され、走行状況に応じて最適な走行モードが自動で選択されます。さらにドライバーが任意で選択可能な「Eセーブ」モードを搭載。駆動用バッテリーの残量を 40%以上に維持することで、EV 走行をしたい場面や登坂路などのモーターによるエンジンアシストが必要な場面に備えて、電力を確保しておくことが可能です。

■デジタル化・コネクティッド機能

縦型の 10.4 インチスマートフォン連携ディスプレイオーディオ（以下、SDA）を採用するとともに、Google 搭載車^{*3}として先進的なコネクティッドサービスを提供します。音声認識機能を使い、通話や音楽の再生、エアコンの温度調整などができる Google アシスタントTMや、ナビゲーション機能やリアルタイムの交通情報を提供する Google マップTM、スマートフォンのように音楽やゲーム、ビデオストリーミングなどの 100 以上のアプリを利用できる Google PlayTMの利用が可能。スマートフォンと連携したい場合は、Apple CarPlay^{*4}、Android AutoTMがワイヤレスで接続できます。また、SDA を通じ、ドライバーの好みや走行状況に合わせて「パーソナル」「エコ」「コンフォート」「スポーツ」の 4 つのドライブモードを自在に選択することが可能です。さらに、モバイルアプリ「Mitsubishi Motors」は、スマートフォンから駐車位置の確認ができるカーファインダーや遠隔で車両のロック、アンロックやエンジンを操作できるデジタルキーなどでコネクティッド機能を強化し、日常の利便性を向上します。



■安全機能

新型『グランディス』は先進の予防安全技術を多数搭載しています。超音波センサーやカメラ、前方レーダーにより、車両周辺の状況を常にモニタリングし、ドライバーの運転をサポートします。また、後退時交差車両検知警報システム [RCTA]^{*1}をはじめとする先進安全装備^{*5}を充実。ドライバーの運転をサポートするとともに、安全・安心なドライブを提供します。

*1：グレード別装備

*2：ドイツ自動車工業会（VDA）の測定方法に準拠（ISO 3832）

*3：Google、Google アシスタント、Google マップ、Google Play、Android Auto は Google LLC の商標です。

*4：Apple CarPlay は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc.の商標です。

*5：新型『グランディス』に含まれる先進安全装備は下記の通りです。

- ・レーダークルーズコントロールシステム [ACC]（全車速追従機能付）Adaptive Cruise Control with Stop & Go（ストップ&ゴー機能は AT/HEV のみ設定）
- ・マルチアラウンドモニター [AVM] Around View Monitor
- ・高速道路同一車線運転支援機能「MI-PILOT」（AT/HEV のみ設定）

- ・オートマチックハイビーム [AHB] Automatic High Beam
- ・後側方車両検知警報システム [BSW] Blind Spot Warning
- ・クルーズコントロール（スピードリミッター付）Cruise Control with Speed Limiter
- ・ディスタンスウォーニング Distance Warning
- ・ふらつき警報 [DAM] Driver Attention Monitor
- ・緊急時車線維持支援機能 [ELA] Emergency Lane Assist
- ・衝突被害軽減ブレーキシステム [FCM] Forward Collision Mitigation system
- ・インテリジェントスピードアシスタンス [ISA] Intelligent Speed Assistance
- ・車線維持支援機能 [LCA] Lane Centering Assist (AT/HEV のみ設定)
- ・車線逸脱警報システム [LDW] Lane Departure Warning
- ・車線逸脱防止支援機能 [LKA] Lane Keeping Assist
- ・オキュパントセーフイグジットアシスト [OSEA] Occupant Safe Exit Assist
- ・駐車支援システム Park Assist (AT/HEV のみ設定)
- ・パーキングセンサー Parking sensors
- ・後退時ブレーキアシストシステム [Rear AEB] Rear Automatic Emergency Braking
- ・後退時交差車両検知警報システム [RCTA] Rear Cross Traffic Alert
- ・リヤビューモニター [RVC] Rear View Camera

以上

【報道関係者 お問い合わせ先】

広報部 商品広報グループ代表 03-6852-4276

※ニュースリリース及び写真は、以下からダウンロードしてご利用頂けます。

[三菱自動車ライブラリー]

<https://library.mitsubishi-motors.com/contents/login.do>

[新型『グランディス』プレスサイト]

https://library.mitsubishi-motors.com/all-new_Grandis/

【お客様フリーダイヤル】

三菱自動車お客様相談センター 0120-324-860

受付時間： 9:30～12:30 13:30～17:00